

Ⅲ 一般選抜（前期日程・後期日程）

1. 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和8年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目（13～28ページ参照）を本学が指定した方法で受験した者としてします。

なお、本学では大学入学共通テストの過去の成績は利用しませんので、本年度行われる大学入学共通テストを必ず受験してください。

（1） 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者

（2） 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者

（3） 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの（※1）

カ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年4月廃止）に合格した者

キ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの（※2）

※1 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても、2026年3月31日までに18歳に達しない者は、出願資格がありません。

※2 出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので、57ページ「Ⅺ 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

（注） 医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は、上記の出願資格に該当し、かつ、「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります（募集については調整中）。

なお、地域枠（一般）に出願する者は、一般枠（通常の一般選抜）を併せて出願することができます（募集については調整中）。

- ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者
- ② 2024年度又は2025年度に本学で実施する地域医療セミナーを修了した者
- ③ 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者
- ④ 将来、香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者

※地域医療セミナーの詳細は、医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/igaku/chiikiiryouseminar/）を参照してください。

※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（<https://www.pref.kagawa.lg.jp/>）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。

2. 出願上の注意事項

（1）併願について

志願者は、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※詳しくは公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org>）を参照してください。

（2）学校推薦型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の学校推薦型選抜に合格している者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（3）総合型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の総合型選抜に合格している者は、当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

（4）前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し、2026年3月15日（日）までに入学手続を完了した者は、後期日程を受験しても、その合格者とはなりません。

（5）学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は妨げません。

本学医学部看護学科の国際バカロレア選抜に出願する者は、同一日程で実施する看護学科の一般選抜（前期日程）と併願することができます。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

- ・ 総合点により合否を判定します。
- ・ 総合点が受験者の中で著しく低い者については、不合格とすることがあります。
- ・ 教育学部学校教育教員養成課程では、4ページのとおりの第2志望までコースの志願ができます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。
- ・ 経済学部前期日程、後期日程では、総合順位方式を採用します。すなわち、各受験者について、A型とB型のそれぞれの配点の順位を付けます。2つの順位のうち、高順位となる順位をその者の総合順位とします。総合順位が高い順に合格者を決定します。
- ・ 医学部医学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え、地域枠（一般）では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。
- ・ 医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。
- ・ 創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では、全コース（7コース）に志願することが可能で、志望順位をつけて第7志望まで記入できます。記入したコースの中から合否判定が行われます。この場合、高得点者から、志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは、造形・メディアデザインコース、防災・危機管理コース、情報コースのいずれかに志願することができます。
- ・ その他、各学部での選抜方法等については、〔1〕大学入学共通テストの利用教科・科目等、〔2〕個別学力検査等の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入学共通テスト及び個別学力検査等の取扱いについて》

- ・ 本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択する受験者は、必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。

両方を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

- ・ 本学が課している大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は、別表（13～28ページ参照）のとおりで。

大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受

験した科目を「第2解答科目」とします。

〔2〕 個別学力検査等の実施教科・科目等

個別学力検査等の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は、別表（13～28ページ参照）のとおりです。

出願後は、選択した科目を変更することはできません。

〔3〕 総合順位方式（経済学部）

経済学部においては、大学入学共通テストの得点によりA型、B型の2つの配点方式を併用した総合順位方式を導入しています。

各受験者について、A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け、2つの順位のうち、高順位となる順位をその者の総合順位としますので、出願時にA型、B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。

総合順位方式による合格者決定の概要は以下のとおりです。

1. 全受験者をA型の配点により採点し、順位を付けます。
2. 全受験者をB型の配点により採点し、順位を付けます。
3. A型による順位とB型による順位のうち、高順位となる順位をその者の総合順位とします。
4. 総合順位が高い順に合格者を決定します。

【総合順位方式の例】

募集人員5名、受験者数10名であり、それぞれの受験者のA型、B型の順位が次のようになったとします。

この場合に、総合順位順に並び替えると次のようになります。

募集人員は5名ですので、総合順位の上位5名、すなわち総合順位4位の受験番号009までが合格者となります。

受験番号	A型順位	B型順位	総合順位
001	1	3	1
002	6	6	6
003	5	1	1
004	3	10	3
005	10	5	5
006	2	2	2
007	7	8	7
008	8	9	8
009	4	4	4
010	9	7	7

⇒

受験番号	A型順位	B型順位	総合順位
001	1	3	1
003	5	1	1
006	2	2	2
004	3	10	3
009	4	4	4
005	10	5	5
002	6	6	6
007	7	8	7
010	9	7	7
008	8	9	8

↑
合格

↓
不合格

〔4〕 2段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科においては、入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に2段階選抜を実施します。

学科 \ 日程	前期日程
医 学 科	約4倍

第1段階選抜は、大学入学共通テストの成績（前期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第1段階選抜の合格者を対象に個別学力検査等を実施し、最終的な合格者を決定します。

〔5〕 創造工学部の配点型について

創造工学部前期日程Aタイプにおいて、個別学力検査等を2科目受験した受験生には、「配点Ⅰ」と「配点Ⅱ」の2つの配点型を導入しています（26ページ参照）。

個別学力検査等を2科目受験した受験生には、大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点がより高得点となる配点型を利用しますので、受験生が「配点Ⅰ」、「配点Ⅱ」のいずれかの配点型を選択する必要はありません。その概要は以下のとおりです。

1. 個別学力検査等を2科目受験した受験生について「配点Ⅰ」及び「配点Ⅱ」それぞれの配点型で採点を行います。
2. 受験生毎に「配点Ⅰ」及び「配点Ⅱ」の総合点を比較し、高得点となる配点型を利用します。利用する配点型での総合点を当該受験生の得点とします。

【個別学力検査等を2科目受験した受験生の配点例】

番号	氏名	配点Ⅰ (総合点)	配点Ⅱ (総合点)	得点 (総合点)
001	A	789	754	789
002	B	672	675	675
003	C	609	684	684

別表 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等について（一般選抜）
【教育学部】

学科等名		区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	
学校教育教員養成課程	幼児教育コース ・ 小学校教育コース	前期日程	国	「国」		必須	国	「国語」
			地歴公民	「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」, 「公、倫」, 「公、政・経」, 「地総／歴総／公」		から1又は2科目	外国語	「英語」
	理	「物基／化基／生基／地基」, 「物」, 「化」, 「生」, 「地」		から1又は2科目	から3科目	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」	から1教科	
	数	「数Ⅰ、数A」		必須	実技試験	「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」, 「地基・地」から1科目選択		
	数	「数Ⅱ、数B、数C」		必須	「音楽」, 「美術」, 「保健体育」から1つ選択	〔1教科1科目〕		
	外情	「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」		から1科目	その他	面接		
	情Ⅰ	〔6教科8科目又は7教科8科目〕		必須	その他	面接		
	中学校教育コース	前期日程	A系			国	「国語」	「英語」
			B系			から1教科	〔1教科1科目〕	
			C系			その他	面接	
後期日程					数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」	から1教科	
					理	「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」, 「地基・地」から1科目選択	〔1教科1科目〕	
					その他	面接		
			実技試験	「音楽」, 「美術」, 「保健体育」から1つ選択				
			その他	面接				
			その他	面接				

（注）【学科等名】、【区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は、A、B、Cの3系別に募集します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。

- 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科で基礎を付した科目を含む2科目を選択する場合、基礎を付した科目で解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目は選択できません（例：「物理基礎」と「物理」等）。
 - 地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合、「公、倫」と「公、政・経」の組み合わせは選択できません。また「地総／歴総／公」を選択する場合は、解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の地歴、公民の科目は選択できません。
 - 地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について基礎を付した科目を選択し、解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目を選択した場合には、第1解答科目の2科目及び地歴、公民の第2解答科目を用います。
- 2 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 1 学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技試験（「音楽」、「美術」、「保健体育」からいずれか1つ選択）です。
- 2 「」内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、「」内の記載を1科目と数えます。（例：「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」・・・1科目、「物基・物」・・・1科目）
- 3 「国語」 「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 4 数学 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）、（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
- 5 外国語「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。
- 6 理科 「物基・物」は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
「化基・化」は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
「生基・生」は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
「地基・地」は、「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のとおりです。

大学入学共通テストの配点等														
学科名等	選択パターン	区分	国語	地歴 公民		数学		理科			外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等
						①	②	基礎を付した科目						
学校教育教員養成課程	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科で指定した科目から2科目を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100	100	100		100	100	200	※	900		
			200	100	100	100		100	200	※	900			
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科で指定した科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100		100	200	※	900		
			200	100	100	100	100		100	200	※	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科で指定した科目から2科目を選択した場合		200	*100	*100	100	100		*100	*100	200	※	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。
			200	*100	*100	100	100		*100	*100	200	※	900	
(上記のうち、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合)	200	100	100	100	100		*100	*100	200	※	900	*印を付したのものについて、第1解答科目の成績を用います。		

【個別学力検査等の配点等】

*印については、各区分でいずれか1つを選択。

個別学力検査等の配点等									
学科等名		区分	国語	数学	理科	外国語	実技	面接	配点 合計
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	前期日程	*150	*150	*150	*150	*150	250	400
	小学校教育コース	前期日程	*150	*150	*150	*150	*150	250	400
		後期日程						300	300
	中学校教育コース	前期日程	A系	*150		*150		250	400
			B系		*150			250	400
			C系				150	250	400
		後期日程						300	300

【法 学 部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	「国」 必須	数 外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』 『英語』 から1教科 〔1教科1科目〕
		地歴	（「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」） から1又は2科目 必須		
		公民	（「公、倫」、 「公、政・経」）から1科目 必須		
		数	（「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅰ」） 「数Ⅱ、数B、数C」 から1科目 必須		
	後期日程	理	（「物基／化基／生基／地基」、 「物」、 「化」、 「生」、 「地」） から1科目 必須	その他	小論文
		外 情	（「英」、 「独」、 「仏」、 「中」、 「韓」） 「情Ⅰ」 から1科目 必須 〔6教科8科目又は7教科8科目〕		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
なお、「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』・・・1科目）
- 数学 「数Ⅰ」、 「数Ⅱ」、 「数A」、 「数B」、 「数C」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
- 外国語『英語』 「英語コミュニケーションⅠ」、 「英語コミュニケーションⅡ」、 「英語コミュニケーションⅢ」、 「論理・表現Ⅰ」、 「論理・表現Ⅱ」、 「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅷの8通りです。

大学入学共通テストの配点等															
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等		
						①	②	基礎を付した科目							
(昼間コース) 法学科	I 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100	100	100	100	(50)	(50)	100	200	※	900		
	II 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100			100	200	※	900		
	III 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)	(50)	*100	200	※	900	*印を付したものの については、第1 解答科目の成績を 用います。	
	IV 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	100	100	100	100			*100	*100	200	※	900	*印を付したものの については、第1 解答科目の成績を 用います。
	V 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	100	200	※	900		
	VI 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100			100	200	※	900		
	VII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	*100	200	※	900	*印を付したものの については、第1 解答科目の成績を 用います。	
	VIII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100			*100	*100	200	※	900	*印を付したものの については、第1 解答科目の成績を 用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	区分	数学	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 法学科	前期日程	*300	*300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	「国」	外	「英語」 〔1教科1科目〕
		地歴	（「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 から1科目		
		公民	「公、倫」、 「公、政・経」		
		理	（「物基／化基／生基／地基」、 「物」、 「化」、 「生」、 「地」） から1科目		
	後期日程	数	「数Ⅰ、数Ⅱ」	その他	小論文
			「数Ⅱ、数B、数C」		
		外	（「英」、 「独」、 「仏」、 「中」、 「韓」） から1科目		
		情	「情Ⅰ」		
			〔6教科7科目〕		

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験できませんので、注意してください。
- 2 理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
なお、「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 3 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 2 外国語「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。
- 3 小論文 広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 前期日程、後期日程ともに、異なる教科に傾斜配点をしたA型とB型を用意します。前期日程の前期A型は個別学力検査等の前期A型、前期日程の前期B型は個別学力検査等の前期B型との組み合わせとなります。また、後期日程の後期A型は個別学力検査等の後期A型、後期日程の後期B型は個別学力検査等の後期B型との組み合わせとなります。
- 2 合格者の決定においては、総合順位方式を利用します。各受験者について、A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け、2つの順位のうち、高順位となる順位をその者の総合順位としますので、出願時A型、B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。
なお、総合順位方式の詳細については10ページを参照してください。
- 3 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 4 外国語で「英」を選択した場合の配点は、前期A型ではリーディング「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。前期B型、後期A型、後期B型ではリーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、前期A型ではリーディング「300点」、前期B型、後期A型、後期B型ではリーディング「200点」とします。
- 5 大学入学共通テストの「情I」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情I」の成績を活用します。
- 6 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅱの2通りです。

大学入学共通テストの配点等												
学科等名	選択パターン	区分		国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	情報	配点 合計
						①	②	基礎を付した科目				
(昼間コース) 経済学科	Ⅰ 理科で基礎を付した科目を選択した場合	前期日程	前期 A 型	300	100 (1 科目)	150	150	(50) (50) └──┴── 100		300	※	1100
			前期 B 型	200	100 (1 科目)	250	250	(50) (50) └──┴── 100		200	※	1100
	前期 A 型		300	100 (1 科目)	150	150		100 (1 科目)	300	※	1100	
	前期 B 型		200	100 (1 科目)	250	250		100 (1 科目)	200	※	1100	
	Ⅱ 理科で基礎を付さない科目を選択した場合	後期日程	後期 A 型	200	100 (1 科目)	100	100	(50) (50) └──┴── 100		200	※	800
			後期 B 型	200	50 (1 科目)	100	100	(25) (25) └──┴── 50		200	※	700
	後期 A 型		200	100 (1 科目)	100	100		100 (1 科目)	200	※	800	
	後期 B 型		200	50 (1 科目)	100	100		50 (1 科目)	200	※	700	

【個別学力検査等の配点等】

- 1 個別学力検査等の前期A型は大学入学共通テストの前期A型、個別学力検査等の前期B型は大学入学共通テストの前期B型との組み合わせとなります。また、個別学力検査等の後期A型は大学入学共通テストの後期A型、個別学力検査等の後期B型は大学入学共通テストの後期B型との組み合わせとなります。
- 2 合格者の決定においては、総合順位方式を利用します。各受験者について、A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け、2つの順位のうち、高順位となる順位をその者の総合順位としますので、出願時にA型、B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。
なお、総合順位方式の詳細については10ページを参照してください。

個別学力検査等の配点等				
学科等名	区分		外国語	小論文 配点 合計
(昼間コース) 経済学科	前期日程	前期A型	200	200
		前期B型	200	200
	後期日程	後期A型		200
		後期B型		300

【医 学 部】（医学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜	
医学科	前期日程	国	「国」	必須	数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」	必須	約4倍
		地歴	（「地総、地探」、	から1科目	理	（「物基・物」、	から2科目	
		公民	「歴総、世探」、		『化基・化』、			
		「公、政・経」)	『生基・生』)					
		数	「数Ⅰ、数A」	必須	外	『英語』	必須	
			「数Ⅱ、数B、数C」	必須	その他	面接	〔3教科4科目〕	
		理	（「物」、	から2科目				
		外	（「英」、	から1科目				
情	「情Ⅰ」	必須						
		〔6教科8科目〕						

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験できませんので、注意してください。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』…1科目、『物基・物』…1科目）
- 数学 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）、（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
- 理科 『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 外国語『英語』 「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等	
					①	②	基礎を付した科目							
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	50	50			100	100	100	※	700	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等						
学科等名	区分	数学	理科	外国語	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200	100	700

【医 学 部】（看護学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名等		教科等	科目名等
看護学科	前期日程	国	「国」		必須	面接
		地歴	「地総、地探」、「歴総、日探」、		から1科目	
		公民	「歴総、世探」、「公、倫」、			
			「公、政・経」、「地総／歴総／公」			
		理	「物基／化基／生基／地基」、		から1科目	
			「物」、「化」、「生」			
		数	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」		から1科目	
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」		から1科目	
情	「情Ⅰ」		必須			
〔6教科6科目〕						

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 地歴及び公民、理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、理科について指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験できませんので、注意してください。
- 「地総／歴総／公」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、地学基礎を除くいずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 数学について指定した科目から2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のとおりです。

大学入学共通テストの配点等													
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	基礎を付した科目						
看護学科	I 理科で基礎を付した科目を選択した場合	前期日程	200	100 (1科目)	150 (1科目)	(75) (75) 150			200	※	800	地歴、公民、理科で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。	
	II 理科で基礎を付した科目を選択しない場合		200	100 (1科目)	150 (1科目)	150 (1科目)			200	※	800	地歴、公民、理科で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等			
学科等名	区分	面接	配点 合計
看護学科	前期日程	200	200

【医 学 部】（臨床心理学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	
臨床心理 学科	前期日程	国	「国」		国 数	『国語』 〔「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」 又は「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B・数C」〕	
		地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「公、倫」、 「公、政・経」、「地総／歴総／公」			から1教科	
		理	「物基／化基／生基／地基」、 「物」、「化」、「生」		外	『英語』	
		数	「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」			必須 〔2教科2科目〕	
		外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」		その他	面接	
		情	「情Ⅰ」				
						〔6教科8科目又は7教科8科目〕	

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。
- 地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は2科目選択してください。理科で指定した科目から1科目選択する場合は、地歴、公民は2科目選択してください。指定した科目から選択していない場合は、個別学力検査等を受験できませんので、注意してください。

●地歴、公民、理科について、1科目選択する場合において2科目受験しているときは、第1解答科目の成績を用います。

●地歴、公民の科目のうち「公、倫」と「公、政・経」の組み合わせは選択できません。

●地歴、公民の科目のうち「地総／歴総／公」を選択する場合は、解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の地歴、公民の科目は選択できません。

●「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目は選択できません（例：「物理基礎」と「物理」等）。

●「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、地学基礎を除くいずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

●地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について「物基／化基／生基／地基」を選択し、解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目を選択した場合には、第1解答科目の2科目及び地歴、公民の第2解答科目を用います。
- 2 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
- ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 1 「」内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
- なお、「」内の記載を1科目と数えます。（例：「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」…1科目、「物基・物」…1科目）
- 2 「国語」 「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 3 数学 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
- 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
- 「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）、（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
- 4 外国語「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。
- 4 大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のとおりです。

大学入学共通テストの配点等																
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等			
						①	②	基礎を付した科目								
臨床心理 学科	Ⅰ 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は2科目を選択した場合	前期日程	200	100		100	100	(50)	(50)	100	200	※	900			
			200	100		100	100			100	100	200	※	900		
	Ⅱ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は1科目を選択した場合		200	100	100		100	100	(50)	(50)	100	200	※	900		
			200	100			100	100			100	200	※	900		
	Ⅲ 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科も2科目を選択した場合		200	*100	*100		100	100	(50)	(50)	*100	*100	200	※	900	*印を付したもののについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。
			200	*100	*100		100	100			*100	*100	200	※	900	*印を付したもののについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。
	(上記のうち、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合)		200	100	100		100	100	(50)	(50)	*100	*100	200	※	900	*印を付したもののについて、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等					
学科等名	区分	国語又は数学	外国語	面接	配点 合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

学科等名			区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
				教科	科目名等		教科等	科目名等	
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	国	「国」	必須	数 理 		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
なお、「地総／歴総／公」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 2 Bタイプの試験において、理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
なお、「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 3 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 1 前期日程においては、出願時に受験科目を選択します。出願後に変更はできません。
- 2 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』…1科目、『物基・物』…1科目）
- 3 数学
Aタイプの試験においては、「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）、（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
Bタイプの試験においては、「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
- 4 理科
『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地基・地』は、「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 5 総合問題
総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。
- 6 小論文
小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価します。特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。
- 4 個別学力検査等を2科目受験した場合は、配点Ⅰ・Ⅱ毎の大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点を計算し高得点となる配点型を利用します。
なお、詳細については11ページを参照してください。
- 5 配点Ⅱにおける大学入学共通テストの成績（配点：600点）は、大学入学共通テストの合計得点（900点満点）に、900分の600をかけた値とします。

大学入学共通テストの配点等																		
学科等名		選択パターン	区分			国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	情報	配点 合計	成績の 利用方法等		
								①	②	基礎を付した科目								
創造工学科	全コース		前期日程	Aタイプ	個別学力検査等1科目		200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	※	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
					個別学力検査等2科目	配点Ⅰ	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	※	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
						配点Ⅱ	(200)	(100) (1科目)	(100)	(100)			(100)	(100)	(200)	※	600 (900)	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
	防災・危機管理コース 造形・メディアデザインコース 情報コース	理科で基礎を付した科目を選択した場合		Bタイプ	200	100 (1科目)	100	100	(50)	(50)	100		200	※	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。 理科で基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。		
		理科で基礎を付さない科目から2科目を選択した場合			200	100 (1科目)	100	100			100	200	※	800	理科で基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。			
	全コース				後期日程		200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	※	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

- *印は選択教科・科目を表します。受験する科目数及び、教科・科目を出願時に選択します。
- 個別学力検査等を2科目受験した場合は、配点Ⅰ・Ⅱ毎の大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点を計算し高得点となる配点型を利用します。
- なお、詳細については11ページを参照してください。
- ※1：個別学力検査等の配点を300点とし、数学・理科のうち、高得点の教科の配点を300点とし、もう一方の教科は利用しない。
- ※2：個別学力検査等の配点を600点とし、数学・理科のうち、高得点の教科の配点を400点、もう一方の教科の配点を200点とする。

個別学力検査等の配点等												
学科等名		区分				数学	理科			総合 問題	小論文	配点 合計
							物理	化学	地学			
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	個別学力検査等1科目		*300	*300	*300				300
				個別学力検査等2科目	配点Ⅰ	※1	*※1	*※1			300	
					配点Ⅱ	※2	*※2	*※2			600	
	造形・メディアデザインコース	Bタイプ			*200	*200	*200		*200		200	
	防災・危機管理コース、情報コース				*200	*200	*200	*200		200		
	全コース	後期日程									100	100

【農 学 部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
応用生物 科学科	前期日程	国	〔国〕 必須	数 理	〔「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」〕 〔「物基・物」、〔化基・化〕、 「生基・生」から1科目〕 〔1教科1科目〕
		地歴	〔「地総、地探」、〔歴総、日探〕、〔歴総、世探〕、		
		公民	〔「公、倫」、〔公、政・経〕、〔地総／歴総／公〕〕 から1科目		
		数	〔「数Ⅰ、数A」、〔数Ⅰ〕〕 から1科目		
			〔「数Ⅱ、数B、数C」〕 必須		
		理	〔「物」、〔化〕、〔生〕、〔地〕〕 から2科目		
		外	〔「英」、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕〕 から1科目		
		情	〔情Ⅰ〕 必須		
			〔6教科8科目〕		
	後期日程	数	〔「数Ⅰ」、〔数Ⅰ、数A〕〕 から1科目		
			〔「数Ⅱ、数B、数C」〕 必須		
		理	〔「物」、〔化〕、〔生〕、〔地〕〕 から1科目		
		外	〔「英」、〔独〕、〔仏〕、〔中〕、〔韓〕〕 から1科目		
			〔3教科4科目〕		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
なお、「地総／歴総／公」を選択する場合は、いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
- 2 （後期日程のみ）理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- 3 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【個別学力検査等】欄

- 1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目）
- 2 数学
「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数A」、「数B」、「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
「数Ⅰ」、「数Ⅱ」、「数Ⅲ」、「数A」、「数B」、「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題では、「数A」は（図形の性質）、（場合の数と確率）を、「数B」は（数列）を、「数C」は（ベクトル）、（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
- 3 理科
『物基・物』は、「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は、「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は、「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】

- 1 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。
- 3 大学入学共通テストの「情Ⅰ」（※印）は配点合計に含めません。
なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科				外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	基礎を付した科目							
応用生物科学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	※	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程			100	100			200 (1科目)		200		600	理科で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等				
学科等名	区分	数学	理科	配点 合計
応用生物科学科	前期日程	*200	*200	200
	後期日程			

〔6〕 実技試験（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

幼児教育コース，小学校教育コースで実技試験を受験する者及び中学校教育コースでC系を受験する者	
音 楽	実技試験（音楽）を受験する者は，下記の試験項目 a～d のうち 2 項目を受験してください。 a. 器楽：ピアノ 任意のソナタの中より第 1 楽章又は終楽章を演奏する（緩徐楽章を除く） b. 器楽：ピアノ以外の楽器* 任意の 1 曲を無伴奏で演奏する c. 声楽：アリア又は歌曲より任意の 1 曲を演奏する（歌曲のみ移調可） d. 新曲視唱 備考 1. 演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。 2. b. 器楽：ピアノ以外の楽器は，各自持参してください。 3. a～c は演奏する楽譜（伴奏譜を含む）を入学願書に添えて提出してください。 * ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，フルート，リコーダー，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，打楽器，琴，三味線
美 術	実技試験（美術）を受験する者は，下記の試験項目を受験してください。 ◆鉛筆静物デッサン （モチーフは 2～3 種類 3～5 個程度，用紙は四つ切り画用紙，制作時間は 3 時間 30 分） 備考 1. 鉛筆，消しゴム（練り消しゴムを含む），羽ほうき（又はダスティングブラシ），カッターナイフ，デッサンスケール，はかり棒など試験に必要な用具は各自で持参してください。 2. 用紙，画板，画板用クリップは用意します。
保健体育	実技試験（保健体育）を受験する者は，下記（1），（2）を受験してください。 （1） 基礎運動能力テスト 3 種目 （ジグザグ走，シャトルスタミナテスト，立ち 5 段跳び） （2） 総合運動能力テスト 4 種目 （陸上競技，器械運動，バレーボール，バスケットボール） 備考 1. 十分に運動のできる服装を用意してください。 2. 全ての実技試験を体育館で行います。体育館シューズを持参してください。 3. 陸上競技はハードル走，器械運動はマット運動を行います。

〔7〕 小論文

実施学部名	小論文の概要
法学部	小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに、学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について、広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。
経済学部	小論文の目的は、受験者の読解力、文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く経済・社会等の分野から選ばれます。
創造工学部	小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力、論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔8〕 総合問題

実施学部名	総合問題の概要
創造工学部	総合問題は、本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力、創造的態度及び表現力等を評価します。 素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔9〕 面接

実施学部名	面接の概要
教育学部	教育学部における集団面接は、教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さをみるために行います。
医学部	医学科における面接は、医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 地域枠（一般） 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等については、一般選抜（前期日程）と同じです。それに加え、香川県による面接があります（募集については調整中です）。
	看護学科における面接は、将来、看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。
	臨床心理学科における面接は、心理援助者としての適性をみるために行います。